

020

英国学

日本人に馴染みの人物や事象を介してみる英国の文化と社会

講座内容

本講座では、横浜開港史や日本近代史に馴染みの人物や事象を通して、日本人が近代化の指針として追い求めた、近代英国の文化と社会についてアプローチする。

期 間	10月3日～11月28日	受講料	10,000円
曜 日	木曜日	定 員	30名
時 間	13:30～15:30	会 場	横浜・関内キャンパス
回 数	全8回	持ち物	筆記用具
教 材	講師が毎回レジュメやプリントを用意します。		

講座スケジュール

回数	日 程	内 容	担当講師
1	10月 3日 (木)	日本人にとっての英国 —時代と共に移り変わった日本人の英国理解—	小林 照夫
2	10月10日 (木)	英国庭園への憧れ —イングリッシュ・ガーデンと日本のガーデニング・ブーム—	村田 幸子
3	10月17日 (木)	伊藤博文等長州五傑がロンドン大学留学時に見た英国 —そこに彼らの国造りの礎が—	小林 照夫
4	10月24日 (木)	「英一番館」でお馴染みのジャーディン・マセソン商会 —創業者ジャーディンとマセソンは「阿片戦争」の黒幕、彼らを介してみた当時の英国の植民地政策—	小林 照夫
5	10月31日 (木)	「海の記念日」と係る「明治丸」は山尾庸三所縁の「ネピア造船所」で誕生 —嘗てその所在地クライド湾は英国一番の造船街、豪華船クイーン・エリザベス 1 号等の建造の地—	小林 照夫
6	11月 7日 (木)	「日本の灯台の父」であり横浜近代都市のプランナー、プラトン —彼の灯台技師の師は、『ジキルとハイド』の著者ルイス・スティーブンソンの父と伯父—	小林 照夫
7	11月21日 (木)	横浜・新橋間に日本最初の鉄道が —モデルにした英国鉄道敷設の史的様相について—	小林 照夫
8	11月28日 (木)	都市横浜の発展のルーツは港に —戦後の日本の港の管理・運営の手本はロンドン港、その港の盛衰と現在のドックランズについて—	小林 照夫

講師紹介



小林 照夫(こばやし てるお)

本学名誉教授

博士(社会学)。本講座に関連した著書として、『一冊でわかるイギリス史』(河出書房新社)、『スコットランドの社会と風土』(春風社)を掲載しました。その他の小林の著書に関しては、ウィキペディア小林照夫の項を参照ください。



村田 幸子(むらた さちこ)

英国・花文化研究家

フラワーデザインスクール運営。花産業アドバイザー。大学社会人講座講師を経て、現在、英国花文化を研究中。著書『ガーデニングビジネスの手引』(同友館)、編著『設計から楽しむガーデンデザイン入門』(農山村文化協会)。